資料　５－２

河川事業に関する報告事項
（参考資料）

平成２９年７月３１日

国土交通省　東北地方整備局

雄物川直轄河川改修事業【事業概要】

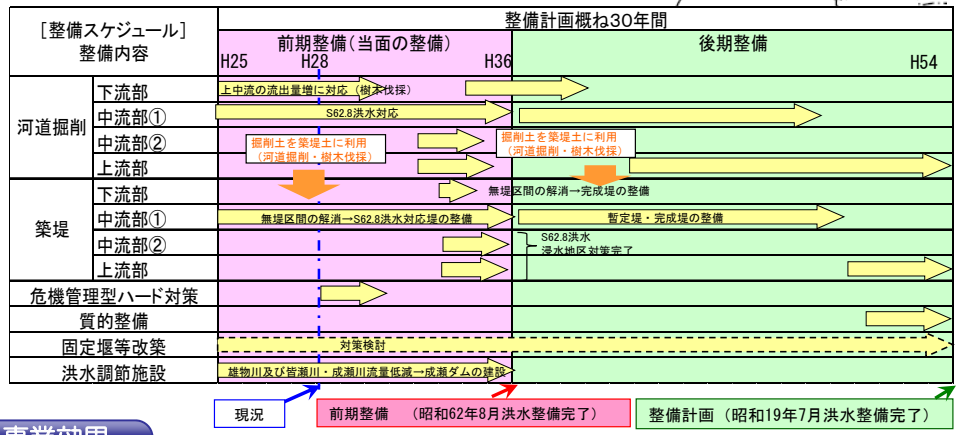
- 雄物川は、過去に昭和22年7月洪水等により甚大な浸水被害が発生しており、近年においても平成19年9月洪水や平成23年6月洪水により被害が発生している。
- 平成26年度に策定した河川整備計画では、『昭和以降に発生した代表的洪水と同規模の洪水に対して、外水氾濫による浸水被害の軽減を図る』ことを整備の目標としている。
- 前期整備（昭和62年8月洪水対応の河川整備）として、中流部無堤地区における整備を優先し、併せて下流への流量増に対応するため、下流部の河道整備を実施する。

位置図

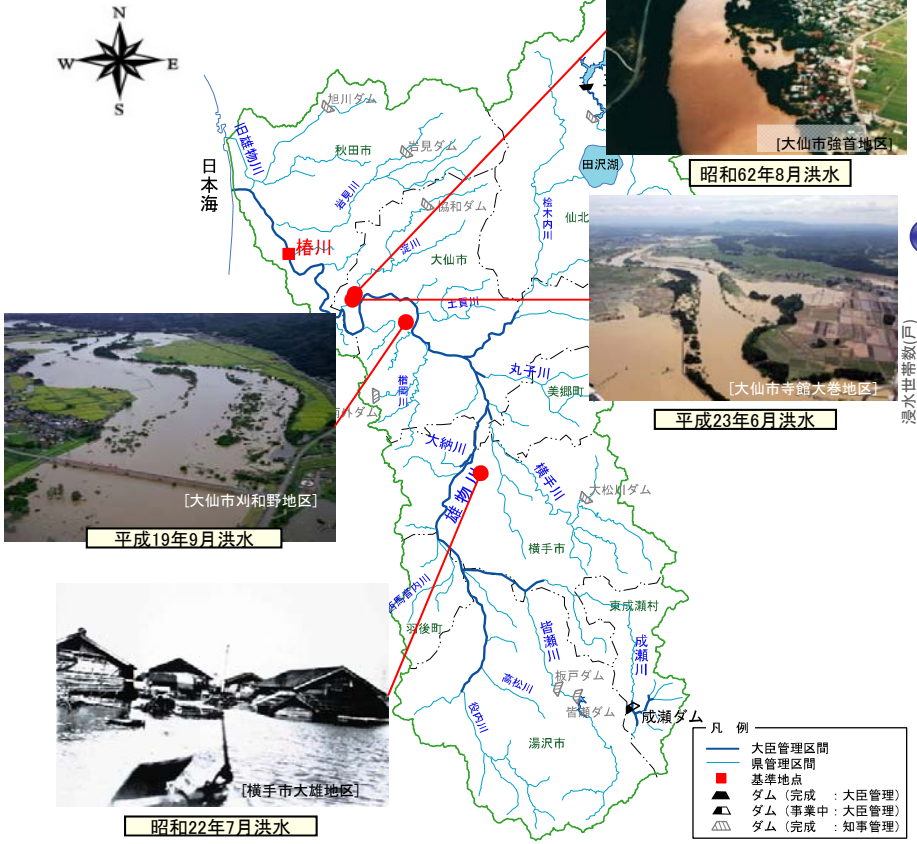


- 事業箇所：秋田県秋田市、大仙市、横手市、湯沢市、羽後町
- 事業期間：平成25年度～平成54年度
- 事　業　費：約1,080億円

今後の事業スケジュール



近年の出水状況



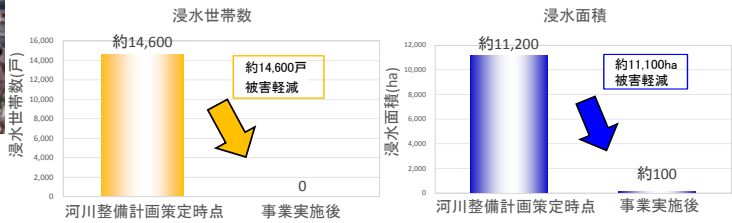
昭和62年8月洪水

平成23年6月洪水

平成19年9月洪水

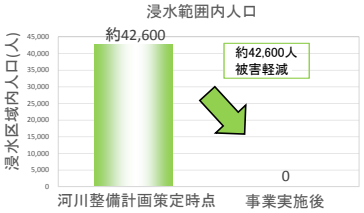
昭和22年7月洪水

事業効果



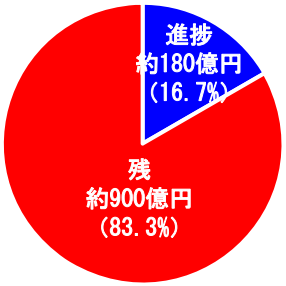
整備計画前後の浸水想定世帯数

整備計画前後の浸水想定面積



整備計画前後の浸水想定人口

事業進捗



※進捗率（%）：事業費ベース

※進捗率（%）：
事業費ベース
（H28年度末時点）

【計算条件】
整備計画策定時河道（H25）と整備計画完了時河道（H54）に整備計画流量を流した場合の効果を示している。

2. 成瀬ダム建設事業【事業概要】

- 成瀬ダムは、雄物川水系成瀬川において、「洪水調節、流水の正常な機能の維持、かんがい用水の補給、水道用水の供給、発電」を目的とした多目的ダムである。
- 昭和58年度から実施計画調査を開始し、平成3年度に国直轄事業に移行し、平成9年度に建設事業に着手。平成24年8月に仮排水路トンネルが完成し、現在は付替道路及び工事用道路等の関連工事を実施している。
- 今後、ダム本体工事に着手し、平成36年度に完成する見込み。

位置図



事業内容

- 実施箇所 ： 秋田県雄勝郡東成瀬村
- 整備期間 ： 昭和58年度～平成36年度
- 事業費 ： 約1,530億円

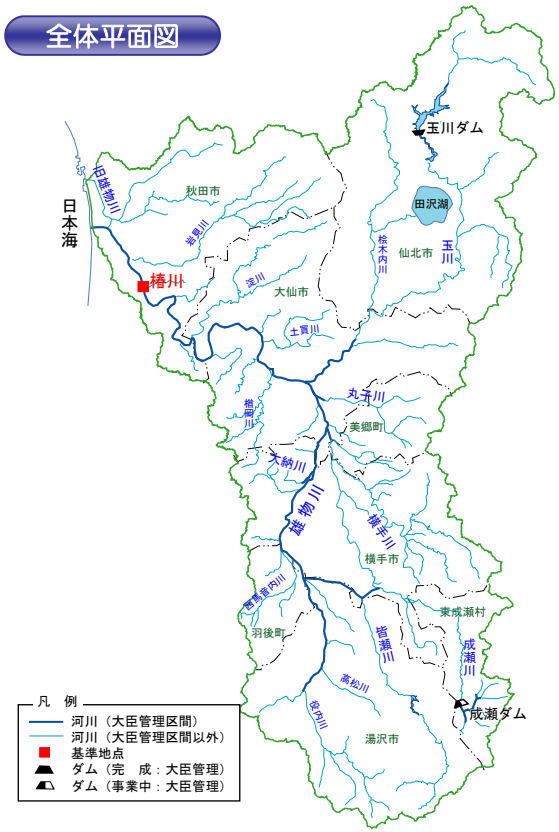
＜ダム諸元＞

ダム流域面積：68.1km²
ダム型式：台形CSGダム
ダム高：114.5m
総貯水容量：78,500千m³

成瀬ダム完成イメージ



全体平面図



事業の進捗見込み

成瀬ダム建設事業は、平成24年8月に仮排水トンネルが完成し、現在は付替道路及び工事用道路等の関連工事を実施。今後、ダム本体工事に着手し、平成36年度に完了する見込み。



仮排水トンネル
（平成24年8月完成）



工事用道路
（施工状況）

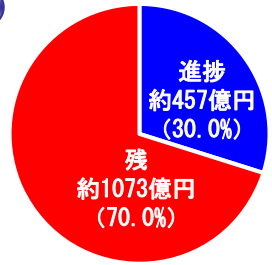


国道付替2号トンネル
（施工状況）

事業効果

- 河川整備基本方針規模の洪水が発生した場合、成瀬ダムの完成により浸水面積は約300ha、浸水範囲の最大孤立者数は、避難率40%で約970人の軽減が期待される。

事業進捗



※進捗率（%）：事業費ベース
（H28年度末時点）

3. 鳥海ダム建設事業【事業概要】

- 鳥海ダムは、子吉川水系子吉川において、「洪水調節、流水の正常な機能の維持、水道用水の供給」を目的とした多目的ダムである。
- 平成5年度から実施計画調査を開始し、平成27年度に建設事業に着手し、現在は基本計画の作成や環境影響評価の手続きを実施している。
- また、ダム本体の実施設計に向けて、測量、水理水文調査、環境調査、地質調査、用地調査等を実施している。

位置図



事業内容

- 実 施 箇 所 ： 秋田県由利本荘市鳥海町百宅
- 整 備 期 間 ： 平成5年度～平成40年度
- 事 業 費 ： 約８６３億円

※整備期間、事業費、ダム諸元については、
基本計画策定前のため、今後変わる可能性があります。

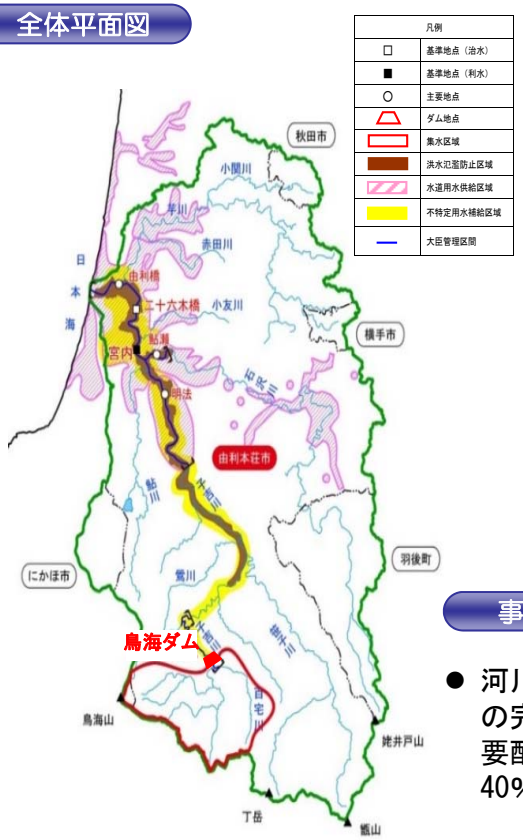
＜ダム諸元＞

ダム流域面積：83.9km^2
ダム型式：台形CSGダム
ダム高： 81.0m
総貯水容量：47,000千m^3

鳥海ダム完成イメージ



全体平面図



事業の進捗見込み

平成27年度に建設段階に移行し、ダム本体の実施設計に向けた測量、水理水文調査、環境調査、地質調査、用地調査等を実施している。


地質調査

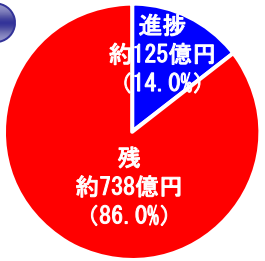

環境調査（鳥類）


用地調査（宅地）

事業効果

- 河川整備基本方針規模の洪水が発生した場合、鳥海ダムの完成により浸水面積は約269ha、浸水区域内の災害時要配慮者数は約17%（524人）、想定死者数（避難率40%）は約16%（7人）の軽減が期待される。

事業進捗



※進捗率（%）：
事業費ベース
（H29年度末時点）